

作成日：西暦 2026 年 1 月 1 日

産業医科大学で、2020 年 4 月から 2025 年 3 月まで、医療従事者として放射線業務に従事した方へ

産業医科大学産業生態科学研究所 放射線衛生管理学では、以下の研究を実施しております。この研究は、放射線業務の際に、法令に基づき実施された個人被ばく線量測定記録を利用して実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022 年 3 月 23 日制定 2022 年 6 月 30 日施行）」により、対象となる教職員等の方々お一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。ご自身の被ばく線量の情報が利用されることを了解されない方は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

X 線透視検査に従事する医療従事者の職業被ばく実態に関する後ろ向き解析

2. 研究期間

研究機関の長の許可日～ 2028 年 3 月 31 日

3. 研究機関

産業医科大学

4. 研究責任者

産業医科大学 産業生態科学研究所 放射線衛生管理学 助教 永元 啓介

5. 研究の目的と意義

本研究は、医療安全および放射線防護教育を目的とした業務改善の一環として、本研究施設において既に運用されていたリアルタイム線量表示の取り組みについて、法令に基づき測定・管理されている既存の個人被ばく線量記録および既存の無記名アンケート結果を用いて後ろ向きに解析し、その教育的有用性を評価することを目的とします。本研究のために新たな介入、追加測定、対象者への接触は行いません。

X 線透視検査における医療従事者の職業被ばくの低減は、長期的な健康管理の観点から重要な課題です。従来の被ばく管理は、月単位の積算線量を中心とした評価が主であり、個々の検査や作業内容と被ばく線量との関係を十分に把握することが難しいという課題がありました。

本研究では、日常診療の中で業務改善として運用されていたリアルタイム線量表示の

取り組みについて、新たな介入や追加の測定を行うことなく、既存の被ばく線量記録および匿名アンケートを用いて後ろ向きに解析します。これにより、医療従事者の放射線防護に対する理解や意識向上につながる知見が得られることが期待されます。

本研究で得られた結果は、今後の放射線防護教育や安全管理体制の改善を検討するための基礎資料として活用され、医療従事者の安全確保に寄与する意義を有すると考えています。

6. 研究の方法

対象とする期間： 2020年4月から2025年3月の間に、放射線管理区域に立ち入った医療従事者の法令に基づき測定・管理されている既存の被ばく線量記録を用いる。

以下の被ばく線量値を用いる。①～③については、法令に基づき既存の被ばく線量記録を用いる。これらの線量測定は日常業務として実施されており、本研究のために新たに測定を行うことはない。

- ① 胸部（男性）もしくは腹部（女性）に装着された個人線量計（バッジ）の値
- ② 頸部（防護衣の外側）に装着された個人線量計（バッジ）の値
- ③ 胸部（男性）もしくは腹部（女性）に装着された電子式個人線量計（リアルタイム線量表示機能を有するものを含む）による被ばく線量値

本後ろ向き観察研究においても、使用するデータはすべて匿名化されたものであり、対象者に新たな負担や接触は一切生じません。なお、当該観察研究の実施にあたっては、情報公開文書を産業医科大学産業生態科学研究所放射線衛生管理学のホームページに掲示し、対象者が自身の情報の利用を拒否できる機会を適切に保障しています。

本研究では、業務改善の一環として実施されていた無記名アンケートの結果を、後ろ向きに解析いたします。新たな聞き取りや面談は行いません。

7. 個人情報の取り扱い

本学から提供された対象者を特定できる個人情報は、一切公表しません。被ばく線量データをデータ保存用PCから取り出す際に、対象者が特定できないように氏名、住所などの個人情報を全て匿名化し、研究責任者が対象者番号を付して保存します。研究責任者は、対象者による開示請求に対応するため対象者番号と実名の対応表を作成し、本学産業生態科学研究所放射線衛生管理学研究室の鍵のかかる保管庫に保管した上で個人情報を徹底管理し漏洩を防止いたします。

本研究として対象者全員に個別の結果通知は行いませんが、対象者から希望があった場合には説明いたします。

この研究の実施や得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、対象者が特定できないように氏名などの個人情報を全て匿名化したデータのみを用い、個人情報は一切使用しません。

研究対象者が、識別される情報の利用の停止を申し出た場合には、その時点までに得られた情報は匿名化を確認した後に直ちに廃棄します。また、当該論文等の発表後10年

間、試料（実験試料、標本）や装置など「もの」については、当該論文等の発表後 5 年間保存し、全てのデータは廃棄します。廃棄するには研究責任者の管理の下、完全に匿名化されたことを確認の後行います。さらに、本学に残された個人を識別するための対応表も、同様の措置を行った後廃棄します。なお、廃棄の対象は、データ保存用パソコンから取り出したデータであり、個人の業務上受けた被ばく線量の記録は、法令の規定により廃棄できませんので、ご了承下さい。

8. 得られた情報の利用目的の範囲

- ・学術発表など研究目的：あり
- ・第三者提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・海外への提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・公的データベース等への登録：なし

9. 問い合わせ先

産業医科大学 産業生態科学研究所 放射線衛生管理学 助教 永元 啓介
住所：〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号
電話：093-691-7549、内線 2050
e-mail: knagamoto@med.uoeh-u.ac.jp

10. その他

本研究参加による直接的な利益はありません。本研究で利用する個人の被ばく線量の情報は、法令の規定により得られたものであるため、謝礼等はありません。本研究は、文部科学省科学研究費助成事業補助金により行われます。また、本研究の利益相反については、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており公正性を保ちます。